

裏磐梯・五色沼周辺で行われたオオハンゴンソウ駆除

2014年8月8日(金)に、環境省が主催する裏磐梯・五色沼周辺におけるオオハンゴンソウ駆除に黒沢研究室から11名が参加してまいりました。

オオハンゴンソウはキク科の多年草で、特定外来生物に指定されています。一見きれいに見えるこの植物は、放置するとお花畑上に広がり、景観を大きく損なう可能性があるため問題になっており、裏磐梯地域でも何年も前から駆除活動が行われています。

黒沢先生によりますと、爪ほどの大きさの根茎を残してしまっただけでも、そこからまた植物体が復活でき、1年だけでなく根気強く何年も駆除しないと、無くならないそうです。私がこの活動に参加したのは今年が初めてですが、この活動によってオオハンゴンソウをどれだけ抑制できたのか気になるところです。もしも、機会があればまた来年以降も参加してみたいと思っています。



オオハンゴンソウ



駆除活動中の黒沢研メンバー



駆除されたオオハンゴンソウ(一部)



閉会式の様子